



キク編



病害虫注意報
2018年9月作成

※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

涼しくなるとアザミウマの発生が再び増加します！他、病害虫にもご注意ください！

アザミウマ類は夏の時期は暑さによって一旦少なくなりますが、涼しくなると増えてきます。えそ病・茎えそ病もアザミウマ類の増加に併せて増える可能性があります。またハダニ類の発生も多くなっています！
白さび病の防除をやめていた方も、再び予防防除を開始することをおすすめします！



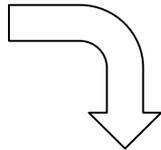
今月のおすすめローテーション



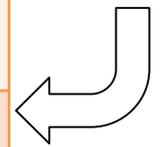
※地域の防除事例を基に作成しています(輪菊栽培)。品種、栽培条件によっては薬害が発生する場合がありますためご注意ください。さらに、展着剤・葉面散布剤等を加用する場合もご注意ください。

定植後	ミカンイロアザミウマ マハモグリバエ、アブラムシ類	ベストガード粒剤	2g/株 生育期株元散布 発生初期/4回 ※アブラムシ類は1~2g/株
------------	------------------------------	-----------------	---

生育初期	アザミウマ類、オオハコガ	プリンスフロアブル	2,000倍 発生初期/5回
	ハダニ類	ダブルフェースフロアブル	2,000倍 発生初期/1回
	さび病、灰色かび病 炭疽病、べと病	エムダイファー水和剤	400~650倍 発病初期/8回



破蕾期	アザミウマ類 ハモグリバエ類 オオハコガ	スピノエース 顆粒水和剤	5,000倍 発生初期/2回 ※オオハコガ 2,500~5,000倍	消灯時	ミカンイロアザミウマ マハモグリバエ ハモシトウ	マッチ乳剤	1,000倍 発生初期/5回 ※ハモシトウ2,000倍
	ハダニ類	カネマイト フロアブル	1,000~1,500倍 -/1回		アザミウマ類	アフーム乳剤	1,000~2,000倍 発生初期/5回
	※白さび病の出やすい圃場は殺菌剤を定期的に 散布することをおすすめします！				ハダニ類	ペンタック水和剤 (施設栽培)	1,000倍 -/



発蕾期	ミカンイロアザミウマ、ミミキイロアザミウマ ヨトウムシ類、オオハコガ、ハダニ類 アワダシコバエ	コテツフロアブル	2,000倍 発生初期/2回
	カメムシ類、ハモグリバエ類 アブラムシ類、アザミウマ類、モグリバエ	ダントツ水溶剤	2,000~4,000倍 発生初期/4回 ※アブラムシ類、アザミウマ類、モグリバエ 4,000倍 株元灌注
	白さび病、うどんこ病	アンビルフロアブル	1,000倍 発病初期/7回

ファイトマジック



キレートマグネシウムと
バランスの良い微量元素

光合成促進！
葉色向上！

1,000倍
葉面散布

カテキンパワー



茶葉から抽出した植物活力資材

弱った株の回復！
樹勢維持に！

1,000倍
葉面散布もしくは
どぶ漬け時に

おすすめ薬剤

前作アザミウマの発生が多かった圃場へ！

トクチオン細粒剤F

アザミウマ類
6~12kg/10a 株元散布
発生初期/5回

